

## 平成22年度 施政方針 主要事業 予 算

### 問い合わせ

▶施政方針 経営企画室 大石 ☎ (23) 0040  
 ▶主要事業・予算 財政室 大石 ☎ (23) 0054



# 市民と市役所が 一体となったまちづくり

牧之原市にとって、一番大きな課題は、榛原総合病院の存続と再建を図ることでした。榛原総合病院の医師の減少などによる医療崩壊により、多くの市民の皆さんに不安を与え、志太榛原地域全体の医療不安まで招きました。ご心配をお掛けしました皆さんに、深くお詫び申し上げます。

茂庭院長をはじめ、病院職員の皆さまの「地域医療と患者を守る」という強い決意と徳洲会グループの地域医療に対する熱い思いにより、指定管理者「沖縄徳洲会」による病院運営が3月1日にスタートしました。

ここに至るまでの間、病院の存続と再建を願い、信じ、そして支えていただきました市民と議員の皆さまのご理解とご尽力に、深く感謝申し上げます。

指定管理者制度への移行により、直ちにすべての診療科が再開されたわけではありませんが、医療機器の充実を図りながら、地域の身近な話題が話し合わされることを中心とした行政運営が進められています。「地区別男女協働サロン」において、地域の身近な話題が話し合われることになりました。その地区に住む人を中心とした行政運営が進められています。地域において、合意形成を図りながら会議が進められるよう、まちづくり協働ファシリテーター養成講座を開催し、地域における人材育成に取り組んでまいります。

また、その地区に住む人を中心とした行政運営が進められることを目的として開催されています。「地区別男女協働サロン」において、地域の身近な話題が話し合われることになりました。その地区に住む人を中心とした行政運営が進められています。地域において、合意形成を図りながら会議が進められるよう、まちづくり協働ファシリテーター養成講座を開催し、地域における人材育成は、限られた職員数の中でも最大の行政効果を上げるために重要です。



庁舎の窓口。常に丁寧な対応を心がけています。

らを考え、課題を解決するなどの能力を備えた職員の育成に取り組んでまいります。市民と市役所が一体になってまちづくりに取り組むためには、情報の共有が欠かせません。市の経営状況はもとより、行政運営の考え方などについて、今まで以上に分かりやすく、スピード感をもつて情報の提供をしていくとともに、説明責任を果たしていく必要があります。市の財政状況は、これまで以上に、サービスの維持と向上を念頭に、経費削減に取り組まなければなりません。

職員を中心とした公共サービスを利用する市民や議員の皆様に、組織設立時に比べ、下水道の普及やごみの減量化の推進、さらには指定管理者制度への移行など、組合の置かれている状況も変化してきております。次に、一部事務組合についてですが、現在、旧町単位のまま、消防や救急業務、ごみ・屎尿処理、火葬場などがおのの組合で運営されています。業務の効率化や機動的な体制確保のために、ざんかを含めた3つの庁舎の在り方に見直しをしてまいります。それと同時に、将来を見据え、今取り組むべき課題についても取り組んでまいります。

本年度は、条例の意義や検討過程の情報を随時発信することを心掛け、条例に対する意見をいたたきながら、議員の皆さまや多くの皆さまの意見をいたたきながら、本年度中に方向を示してまいります。こうしたことから、一部事務組合の在り方についてもその方向性を含めて検討してまいります。市民や市議会の皆さまのさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## みんなで築く「幸福実現都市」



# 施政方針

りながら、総合内科の診療再開や救急医療体制の立て直しも行われています。安心できる地域医療を確保するため、徳洲会はもとより、近隣の市町や医師会と連携し、市民の皆さまのご理解をいただきながら、今後も病院再建に向けて、全力で取り組んでまいります。

これまで以上に、市民と市役所が一体となり、合併以来掲げておられます「幸福実現都市」に向かつて、まちづくりに取り組んでいかなければなりません。

このため、自分たちの「まち」を他人任せにするのではなく、それぞれの役割や責務を明確にし、協働のまちづくりを進めるためのルールである「自治基本条例」（仮称）の策定に向けて検討を進めているところです。



地域の課題を話し合う地区別男女協働サロン。